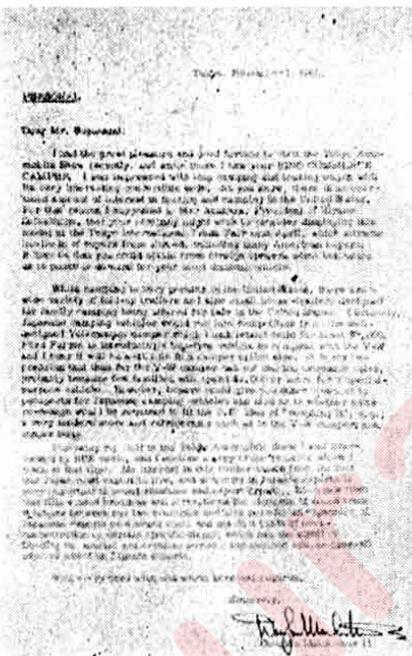


# 米大使の書簡

## 日野コンマース

### キャンパーを賞讃

駐日米大使ダグラス・マッカーサー二世は十月二十六日、全日本自動車ショウを熱心に見学したが、翌二十七日、NHK海外放送で質問に答えて、私はキャンピングと観光旅行用に上手に設計されたステーションワゴンに特に興味を持った、これらはアメリカの市場で歓迎されるだろうと述べたが、製造元である日野自動車販売(株)菅沼社長に次のような書簡を送ってきた。



日野自動車販売株式会社  
社長 菅波称事殿

謹啓 過日の全日本自動車ショウは大変愉快に見学致しました。なかでも貴社の面白い工夫のコンヴァーチブル型ベッド付のキャンプ及び観光旅行用ワゴン「日野コンマース・キャンパー」には感心させられました。

ご承知の通り合衆国では観光旅行キャンピングが非常に愛好されており、常々、私は日産自動車会長の浅原氏にも来年の四

月開催の東京国際見本市にこの種の車を出品されては如何と申しました。

この種の車はアメリカや諸外国の幾百人のバイヤーをひきつけ、又熱心な多数の外人見学者達からも、需要の可能性について、示唆を得ることができでしう。

アメリカでは、家族のキャンピング用に設計された多種類の折たたみ式及び小型「ハウストレーラー」が販売されており、本製のキャンピング車は美

事に設計されたフォルクスワーゲンキャンパーと競争することになるだろうと思えます。またフォードフルコンもフォルクスワーゲンに対抗するため、バス型の車を発表しようとしており、それはキャンパー向けにも利用できるだろうと聞いております。

私の印象では今までの処フォルクスワーゲンのキャンパーはあまり広汎な販路を獲得してはいないようです。多分それは、この様な特殊用途の車に多額の金を費やす家庭はあまり多くないからでしょう。

しかし日本製キャンプ車の販売の見通しやアメリカ式実用化案に合せて、フォルクスワーゲンキャンパーのように、最新式レンジヤ冷蔵庫を取付けるとか又はベッドを長くするなど改装が必要か否かについてバイヤー達から色々意見を聞くことができると思います。

全日本自動車ショウ見学後NHKラジオインタヴューがありましたが、その際の私の談話の概要を同封致します。

本件に関する私の関心は日本は生きるためには輸出しなければならぬし、又日本の輸出品目の多様化は両国間の堅実な関係及び輸出増大に極めて重要であるという事に由来するものです。

い商品は我々両国間の健全な通商関係の道を広め、且つ強めるものであって、限られた少数品目に集中し過ぎて市場に溢れ重大な混乱を惹起しひいては総体的に日本の輸出に逆効果を与え、堅実な基盤の上に日本の輸出を進展せしめる事となりましょう。終りに、貴下のご多幸を祈念致します。敬具  
昭和三十五年十一月一日  
ダグラスマッカーサー二世